

## 森林環境学習 令和5年度

日 時	令和5年10月 14日(土)、21日(土) 9:00~12:00
参加者	サン・はぎわら職員 (15日は雨天のため中止)
目的 (指導)	指導者のための森林環境学習 講師：NPO 法人飛騨小坂 200 滝 皆越眞佐代 氏 他



事前に説明を受ける



甘い香りのカツラの葉



まるでトトロのトンネル



森の説明を聞く職員



巖立の岩に咲くダイヤモンドソウ



サルナシの実 美味！



ヌタ場(イノシシの泥浴び場)



紅葉のどんびき平



ホコリダケ

昨年に続き今年度は秋の「小坂の滝」で森林学習を行った。  
春との違いを感じながら秋の森を学習した。  
事前説明の中で、講師の皆越氏より「自然をどう感じるか。五感をフル活動して歩いてください」と言われた。  
歩いて直ぐだった。甘く香ばしい香り。カツラの木。黄色く紅葉することで葉が香るらしい、この時期にだけ香るとの説明。ラッキーだった。  
その他、レースフラワー、大自然のなかのダイヤモンドソウ、アキノキリンソウ、リンドウ、ノコンギクなど秋の花をみつけ花の名前を教えて頂きながら楽しんで歩くことができた。  
200 滝のガイドのお陰でいろんなことが知れた。

○今年は山藤がたくさん咲き綺麗だと眺めていたが、山藤のつるに巻き付かれた木は養分を吸い取られ、のちには枯れてしまうという。だから山の手入れが必要だとの事。

- 歩いている途中に大きな水たまり。動物のお風呂場である「ヌタ場」を見つけた。足跡もみられ、まさに使用したばかりという感じであった。
  - ここにはいろんな種類のどんぐりが落ちていた。コナラとミズナラのどんぐりの違い、葉っぱの違いの説明も受ける。
  - 森にはたくさんの種類の楓、もみじ　そしてその紅葉。
  - 鳥の鳴き声がした。・・・カケス、カラス。
  - ホコリダケ・・・丸まった傘を突つくと煙が出る。子どもたちが喜びそう。楽しい。
  - オオバコ、ゲンノショウコウ、センブリ、栗など森に生えている植物や落ちている木の実を見るたび、その効用と使い方も教えて頂いた。
  - 山帰来という葉をみて、名の由来（サンキライは毒消しの効用があり、山から無事に帰ってくる）も聞いた。餅を包んだりするそうです。
  - サルナシの実・・・ガイドさんに言われて食べてみた。中身も味もキウイフルーツと同じ。
  - 歩いて降りてくると空気が変わったことを感じる。滝に近づいてきたのだろう。河原に降りると、雄大で、深いエメラルドグリーンの滝つぼに出会う。マイナスイオンをたっぷり浴びていることも感じた。その岩場に生えているたくさんのダイヤモンドソウ。山野草店でしか見たことのない私は、ちょっと感動。
  - 途中のどんびき平では、湿原の中を歩いて見る事が出来るように木で歩道が作ってあったり、河原には、ところどころにセメントで歩きやすくしてあったり、200 滝さんの手入れのお陰で小坂の滝を安全に楽しく観て学習することが出来ました。ありがとうございました
- 一緒に研修に参加した内木副理事より「是非、このような自然に感動できる保育士や職員になってもらいたい」と話しをされた。

以上